



イクメンパパを応援します 保健センター「プレママクラス」

保健センターでは、妊娠中の人とその家族むけに出産や育児について学べる「プレママクラス」を開催しています。今回、私がお邪魔したのはプレママクラスの「プレ育児編」です。近年は、出産や育児に積極的に関わろうとするイクメンが増えているようで、女性にとってはありがたいことですね。

この日は、出産を数か月後に控えた13組のご夫婦が参加。助産師さんによるお産の経過についての講話、昨年出産した先輩パパママの体験談を聞いたあとは、いよいよ実習です。

まずは、妊婦疑似体験。お腹にずっしりと重りをつけると妊娠8か月の「妊婦」さんが出来上がりました。「苦しいんですね。歩く時も足元が見えないし」パパたちもママの大変さわかっていただけましたか？続いて、赤ちゃんの沐浴、授乳、おむつ替え、あやし方を赤ちゃん人形を使って実習します。大きな手で、やさしく、そしてちょっとごちなく慎重にお風呂に入れるパパ。その様子を笑顔で見つめるママ。お腹で赤ちゃんを育てている女性と違い、男性は父親になる実感を持ちにくいと言われます。プレママクラスに参加するなど、生まれてくる赤ちゃんを夫婦が協力して迎えようとする姿は、微笑ましく、取材している私まで温かい気持ちになった一日でした。



夫婦で妊婦？妊婦疑似体験

閻中央保健センター
(☎42-5595)



助産師さんの講話



広報レポーター
塩田 幸子（浦部）



おふろはパパの担当